

“オーロラビジョン”の新技术

斎藤雄作*
室園 透*

New Technologies of “Diamond Vision”

Yusaku Saito, Toru Murozono

要 旨

三菱電機の大型映像表示装置“オーロラビジョン”は、1980年の初号機納入以来、国内外のスタジアムや公営競技場などを中心に納入実績を重ねてきた。近年LED(Light Emitting Diode)方式の表示素子が普及し、軽量・長寿命と合わせて低コスト化が進み、商業施設のビル壁面やオープンスペースなどに設置する表示装置など、新しい市場へもその用途を拡大している。

当社では、市場のニーズをくみ取り、表示部の高画質化、高機能化と、様々な用途に対応するシステム化技術の開発に注力してきた。まず、表示部の高画質化では、LED素子ごとの輝度調整、多階調表示制御、独自の色度変換技術などの開発を行っている。また、高機能化として、表示用コントローラは、パソコンのDV(Digital Visual Interface)信号を直接入力可能でコンパクトなタイプや、ハイ

ビジョン信号4系統を同時に入力できるハイスpek的なタイプも開発している。さらに、表示用ソフトウェアは当社独自で開発し、Windows^(注1)ベースの安価なシステムでも、オーロラビジョン上にスムーズな流し文字表示、動画表示、特殊効果表示などを実現できる。

一方、システム化技術として、スタジアムや公営競技場などに納める専用システムや、遊技場などに納める簡易システムなどをそろえている。さらに最近では、ハイビジョンコンテンツのストリーミング配信機能を開発し、映像情報システムの付加価値を高めた市場展開を進めている。

当社は、これらのオーロラビジョンの新技术を活用して、今後も市場の開拓と拡大を図っていく所存である。

(注1) Windowsは、米国Microsoft Corp.の米国及びその他の国における商標又は登録商標である。



滋賀県びわこモーターボート競走場オーロラビジョン(2008年3月納入)

スクリーンサイズ:縦8.8m × 横23.2m, 解像度:縦704 × 横1,856画素, 輝度5,000cd/m²